

防災VG総会に出席して

関ヶ谷自治会長 田崎幸雄

3年前、私が自治会長として先ず何よりも最初に感じたこと、それはこの大きな関ヶ谷自治会地域住民皆さんの安全安心な暮らしを一体この様に守りつら良いのか?というところでした。関ヶ谷自治会の大きな特徴大きな問題は、超高齢化という現実です。

自治会高齢化の実状は、総戸数：1046世帯に対し、70歳以上の方が：1064人にも上る現状です。おひとり暮らしの方も：95人。一方、自治会の安全安心な暮らしを守る体制としては、役員8名、地区長26名、班長93名の現体制が基本です。自主活動クラブの皆さんも側面的に支えてくれています。3名の地区長からなる防災部員だけではどうにもなりません。どうしても100名近い防災VGの力を仰ぐ必要があるのです。そこで私は3年間をかり自治会と防災VGの連携強化、一体化の構築を目指し進めて来ました。

お陰様で、防災VG皆さんの理解と協力も得られ、これまで「自治会防災指針」「自治会災害対策本部設置要綱」を策定。「自治会防災会議」も発足。また年4回の「防災だより」も発行、定着。3年目の今年、防災VG皆さんがこれまで主要任務としていた発災時の安否確認については、地区長・班長さんに委任できるようになって来たこと判断から、防災VGの新規取り組み案件として、「5つのスキルチーム」を立上げ、体制構築を実現させるまでに至りました。これは自治会にとっても大変嬉しく有難い、大きな前進・収穫です。



地域住民の皆さんは、今後ますます高齢化も進行し、要援護者も更に増大して行く実状にあります。皆で知恵を絞って集まり、皆で協力し助け合いながら進めて行くことを自治会の第一義にして行くしかありません。防災VG皆さんの尚一層のご理解とご協力を仰ぐばかりです。本日の総会、意味のある意義のある総会になんことを切に祈念致します。

28年1月16日

防災VG総会

代表挨拶 徳岡正彦

この1年間はスキルチームの発足とその後の活動・実践に大変大きな成果がありました。

1 防災VGはH22年11月に発足し、今年で5年2ヶ月となりました。現在 防災VG員は全員で92名、内女性は38名で約41%です。

2 発足の原点であります災害時要援護者は今年度135世帯176名登録されており、前年比16世帯40名と大幅に増加しています。安否確認とその後の支援等を皆様に、複数で担当して頂いており、要援護者の方々には担当者名を書面でお知らせしています。

3 防災VGは今までより一歩踏み込んで平常時防災減災に繋がる防災スキルチームの設置を前年の総会で立ち上げを決定し、7月の臨時総会で登録を開始し、打ち合わせを重ね具体的な活動に入りました。現在の登録状況は

*防火チーム：18名、情報通信電気チーム：12名、医療介護チーム：13名、食料物資チーム：36名、防災資機材チーム：11名、延べ90名です。

4 12月の地域防災拠点訓練に於いて、訓練プログラムの中に「情報通信電気チーム」の災害時、車からの非常用電力確保と「食料物資チーム」非常用炊き出し袋を使った非常食作りが取り入れられた。これは画期的なことであり、参加者の関心が非常に高かった。

*又、「情報通信電気チーム」から災害時の自治会対策本部の電子機器の体制についての答申がされました。

5 自治会と防災VGは防災活動の1本化と強化に向け、防災会議で基本計画の立案・一体化した防災訓練等について毎月1回討議を重ねました。

*9月の自治会防災訓練では防災VGは自治会との1本化した訓練を行いました。防災VGは自治会の安否確認とは別に先行して要援護者宅に「安否確認」をしました。

防災VG総会の主な質疑応答

Q 要援護者の年齢を書き下さいとの要望...非常時の対応に役立つ。

の対応に役立つ。

A 要望に対して、2月の防災会議と防災VG役員会で検討した結果、自治会の個人情報取り扱い規定に照らし齟齬の無い範囲で要望されている要援護者の担当者並びに医療介護チームに「状況(年齢)」を知らせることとしました。

Q スタンドパイプは課題が残ったとあるが、どのようなことか?

A スタンドパイプは昨年1台購入、訓練をしましたが、女性にとっては扱いにくい、購入金額も大きいなどの意見。よって、当面はメンバーで取扱いのスキルアップに努める。また今年は補助金の申請並びに購入はしない。

Q スタンドパイプで飲料水を得られる? A 災害時、消火栓からスタンドパイプに付属品の2口 給水装置を装着すれば飲料水が取水出来る。

Q スタンドパイプで飲料水を得られる? A 災害時、消火栓からスタンドパイプに付属品の2口 給水装置を装着すれば飲料水が取水出来る。

意見として

Tさん:私の近所にこのようなケースがあります。要介護者の方で、認知症でしかも独居の方。私は何かあった時のために、子供さんの連絡先を聞いております。このように連絡先などの情報を知らせ合えば、いざと言う時助け合える(共助)のでは?

「防災VGメンバーリスト」を関ヶ谷の皆さんに開示することの提案(代表より)

趣旨:1月の防災会議で「防災メンバーを是非お知らせしてほしい。」理由はこれだけ多くのメンバーが私たちの周りに居られることを知るだけで、どんなに心強いことか。何かあった時、相談も出来る。これらの提案を受け、総会にはかり拍手をもって承認された。11号「防災だより」で開示(先の表)

7:2:1
自助:共助:公助

合計90名



| 第1グループ | | 第2グループ | | 第3グループ | |
|--------|-----|--------|-----|--------|-----|
| No | お名前 | No | お名前 | No | お名前 |
| 1 | 弘末 | 1 | 松原 | 1 | 佐藤 |
| 2 | 斎藤 | 2 | 木部 | 2 | 中川 |
| 3 | 柱本 | 3 | 木部 | 3 | 藤井 |
| 4 | 鈴木 | 4 | 常森 | 4 | 依田 |
| 5 | 村山 | 5 | 浅山 | 5 | 服部 |
| 6 | 谷川 | 6 | 富田 | 6 | 今田 |
| 7 | 小澤 | 7 | 大橋 | 7 | 鈴木 |
| 8 | 小田島 | 8 | 大橋 | 8 | 西岡 |
| 9 | 野口 | 9 | 長谷川 | 9 | 高橋 |
| 10 | 井上 | 10 | 小川 | 10 | 相曾 |
| 11 | 當舎 | 11 | 小松 | 11 | 竹下 |
| 12 | 田中 | 12 | 山本 | 12 | 海老根 |
| 13 | 林 | 13 | 茂田 | 13 | 徳岡 |
| 14 | 橋本 | 14 | 水淵 | 14 | 笹目 |
| 15 | 小林 | 15 | 中山 | 15 | 池田 |
| 16 | 戸次 | 16 | 入野 | 16 | 野々山 |
| 17 | 越智 | 17 | 中元 | 17 | 武居 |
| 18 | 梅谷 | 18 | 藤原 | 18 | 篠 |
| 19 | 出澤 | 19 | 藤原 | 19 | 後藤 |
| 20 | 陣座 | 20 | 高山 | 20 | 新明 |
| 21 | 多胡 | 21 | 和泉 | 21 | 嶋田 |
| 22 | 荒木 | 22 | 和泉 | 22 | 大島 |
| 23 | 十川 | 23 | 野呂 | | |
| 24 | 松浦 | 24 | 野崎 | | |
| 25 | 鶴飼 | 25 | 船田 | | |
| 26 | 山中 | 26 | 小西 | | |
| 27 | 鈴木 | 27 | 志村 | | |
| 28 | 土屋 | 28 | 志村 | | |
| 29 | 坂口 | 29 | 西村 | | |
| 30 | 横井 | 30 | 梨本 | | |
| 31 | 石橋 | 31 | 西尾 | | |
| 32 | 小川 | 32 | 高橋 | | |
| 33 | 小島 | 33 | 中沢 | | |
| 34 | 山本 | 34 | 田崎 | | |

家庭電源の車発電デモに際してのFAQ集

荒木 健治 13-1 782-4286

防災拠点訓練で車による発電のデモを行いました(詳細は防災だより(平成 27年 11月発行)を参照)。多くの方から質問をいただき、多くの答えをしたつもりです。質問者の方からみると、十分に質問していない、答えも十分に聞いていない、という状況であったと推察されます。それでやりとりの一部をFAQ集として纏めることにしました。

Q1 インバーターはどこで買え、価格はいくらか？

A1 ネット通販アマゾンで買える(検索:アマゾン、インバーター、BESTEK)。ヨドバシカメラ上大岡店でも買えるようです。デモ車のもの(300W)はアマゾンで 2980円でした。75W~1000Wのものが売られている。

Q2 受電はバッテリーからではなく、シガーソケットからでは駄目か？

A2 使用電力が 150Wまではシガーソケットでもよい。それ以上ではバッテリーからの方が無難です。バッテリーからシガーソケット間の送電能力が不明だからです

Q3 ガソリン缶詰はどこで買え、価格はいくらか？

A3 アマゾン、東急ハンズで買える。値段はアマゾンで約 900円/1Lです。



Q4 自宅でガソリンを保管してもよいか？

A4 40L以下なら違法ではない 但し専用の保管用容器が必要。

Q5 普通車(ハイブリッド車でない)の燃費をもっとよくする方法はないか？

A5 少し面倒になるが、ある。ハイブリッド車が行っていることを手動でやればよい。紙面の制約があるので詳細は省くが、通電中、バッテリー電圧が 10.5Vまで下がったら、エンジンをかけて充電すればよい(電圧測定用テスターの価格は700~900円)。充電頻度はバッテリー容量、電気消費量に大きく依存するが、デモ車のバッテリー(容量 48Ah)、電気消費 250Wの場合で 2.5 時間毎と見積もられる。

食と防災 第4回 「熱源を確保しよう」



災害時はライフラインがストップします。

救助物資や水はすぐに配られるわけではありません。電気もガスも使わずに調理するにはどうしたらよいか、普段から考えておきましょう。

★必ず用意しておくもの カセットコンロと予備のボンベ。ボンベは1本 60分(目安)

注意事項

◇カセットコンロ全体を覆うような大きな鉄板や鍋を載せたり、2台を並べて一つの鉄板を載せたりすると、カセットコンロに接続されているボンベが加熱されて爆発する恐れがあります。

◇ボンベの凹み部分とカセットコンロの凸部分をしっかり合わせて使しましょう。誤った装着はガス漏れや火災の原因になります。

◇暖房機のそばや直射日光の当たる車内など、高温になる場所はボンベを置かない。ボンベが加熱されて爆発するおそれがあります。

※備えが役に立ったかどうかについての市民アンケート調査(東日本大震災)によると、カセットコンロは 94.2%の人が「役に立った」と回答

★熱源の節約のヒント

シチューやカレー、ポトフなど、じっくり火を通す煮込み料理は発砲スチロールの箱を使ってボンベを節約！発砲スチロールの箱がなければ、新聞紙と毛布にくるんでも調理できます。

★アウトドアグッズも役に立つ！

アウトドア用コンロ、七輪、ブロックで作る「かまど」なども活用できます。

余震も心配！

消火用バケツの用意も忘れずに！



冊子「食と防災」より抜粋

『防災部・防災ボランティアの今後の活動予定』

- 毎月開催:防災会議、防災ボランティア役員会
- 各スキルチーム活動・打ち合わせ等: 2月~4月
- 予算案策定:各スキルチーム申請分の取り纏め: 2月~3月
- 会計報告・監査: 27年度の精算、会計監査: 2月~3月
- 情報通信電気チーム: 2月29日会議
- 医療介護チーム: 3月13日会議

防災ボランティアグループ総会に参加して

和泉 順子 51-2

およそ 30 数年前、大阪から転居なされた方が「関東は地震が多いから気が進まなかったけど転勤じゃあね..」と言われた事を憶えています。

処がその後間もなく、神戸を中心とするあの大地震があり、それから全国各地に地震や水による大災害が続いています。地震発生を告知するテレビ画面のスーパーも頻出し注意を呼び掛けています。

平成 28 年 1月16 日防災ボランティア定期総会開催のこの朝も、テレビ画面にはどこかの地方の震度 3 の文字がありました。

平常時から災害に備え、いざという時助け合おうと、このグループが誕生して既に五年。1100 世帯の住民の中で 70 歳以上が 1064 人、そのうち単身者 95 人という超高齢者団体の中で、これもまた高齢と思いき面々が大方を占めるボランティアが 92名も集まった事。この地域の意識の高さに改めて誇りを覚えました。

また、五つの専門分野によるスキルチームを明確化したことで、夫々のボランティアも活動意識を高める可能性があるのではないのでしょうか。



私達末端の一人ひとりが地道に行わなければならぬのは、余計なおせっかいと避けられない程度にご近所さんと関わり合い、いざという時ガッチリ繋ぎあえる人間関係の構築ではないのでしょうか？個人情報保護法の縛りなどなかった頃のコルーイ情報を以って、あの郷愁を覚えるような言葉「向こう三軒両隣り」の助け合いが出来れば良いかと。

「非常食作り体験デモ」に参加して

土屋 浩子 73-3

自治会の回覧板で今回の実習・体験があることを知り、是非これは参加してみたい！と思いました。

非常時にビニール袋を利用して、お米を炊き簡単な料理が出来ると言うものですが、実際にはビニール袋で調理すると臭いが食材に移って、あまり美味しくないのではないかな？...という思いがありました...が！「食糧・物資チーム」の皆様のお話し、ご指導を頂き、「非常用炊出し袋」でカレーの作り方、ご飯の炊き方、水加減、ビニール袋の中の空気を抜きながら、絞って結ぶ、等々...

先ず大きな鍋にたっぷりのお湯を沸かし、その中に食材の入った袋を入れ、待つこと40分程。いよいよ試食...さて心配していた、ビニールの臭いは全く無く、カレーもご飯もそれぞれ美味しく頂きました。

非常時にこの袋があると、大変便利で鍋、食器の代わりにもなるという「優れもの」でした。チームメンバーの高橋さんからその「非常用炊出し袋」を頂きましたので、早速、我が家でカレー、豚汁など、出来そうなものを作ってみようとおもいます。私だけがこの袋のことを知らなかったのかな...？

ご近所の方や友達にも、また息子家族にも、「キャンプ等で使うと便利だよ」と勧めてみたいと思います。

ちょっとした機会にこの袋で簡単ご飯を楽しんで、いざ非常時に慌てなくてすむと良いですね。次回もこのような機会がありましたら、ご近所さんを誘って是非参加したいと思います。チームの皆様 ありがとうございます。



- 防火チーム: スタンドパイプ消火訓練実施
日時: 28年2月22日(月) 13時30分~14時30分
場所: 奥座公園北側(旧コミュニティーハウス前)
参加: 防火チームメンバー12名(予定)
- 資機材チーム・防災部:防災資機材の棚卸し: 2月~3月
- 「防災だより」12号: 5月15日予定